

平成 2 4 年 7 月 2 6 日  
2 1 0 会 議 室

平成 2 4 年第 1 4 回  
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成24年第14回立川市教育委員会定例会

1 日 時 平成24年7月26日(木)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 2時30分

2 場 所 210会議室

3 出席委員 福 田 一 平

田 中 健 一

古 岡 邦 人

平 山 いづみ

澤 利 夫

署名委員 平 山 いづみ

4 説明のため出席した者の職氏名

教育長 澤 利夫

教育部長 新土 克也

教育総務課長 小林 健司

学務課長 小林美佐子

指導課長 並木 浩子

図書館長 小宮山克仁

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 高木 健一

黒島 秀和

## 案 件

### 1 協議

- (1) 教育委員会点検・評価について
- (2) 立川市における小学校の学校適正規模の考え方（素案）について

### 2 報告

- (1) 第一小学校建替え事業について
- (2) いじめの実態把握のための緊急調査について
- (3) 地区図書館への指定管理者候補者の選定について

### 3 その他

平成24年第14回立川市教育委員会定例会議事日程

平成24年7月26日

210会議室

1 協議

- (1) 教育委員会点検・評価について
- (2) 立川市における小学校の学校適正規模の考え方（素案）について

2 報告

- (1) 第一小学校建替え事業について
- (2) いじめの実態把握のための緊急調査について
- (3) 地区図書館への指定管理者候補者の選定について

3 その他

---

◎開会の辞

- 福田委員長 ただいまから、平成24年第14回立川市教育委員会定例会を開会いたします。  
署名委員の指名を行います。署名委員に平山委員、お願いいたします。
- 平山委員 はい、承知しました。
- 福田委員長 次に議事内容の確認を行います。協議2件、報告3件でございます。議案はありません。その他は議事進行過程で確認をいたします。  
次に出席者の確認を行います。新土教育部長、お願いいたします。
- 新土教育部長 教育委員会事務局の管理職の出席者でございます。教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、図書館長でございます。

---

◎協 議

(1) 教育委員会点検・評価について

- 福田委員長 それでは議事に入ります。  
協議(1)教育委員会点検・評価について、を協議します。  
教育委員会点検・評価〔外部評価委員評価〕を資料としてご参照願います。  
澤教育長、趣旨説明をお願いします。
- 澤教育長 それでは、点検・評価の流れの中の7番目になってきますが、外部評価委員のコメントを踏まえて、教育委員の最終的な点検・評価を行っていく段取りでございます。お手元に各ページ、6として外部評価委員コメントが掲載されておまして、既に委員の皆様ご覧になっていただいていると思いますが、これを踏まえた形での最終に向けてのコメントをいただきたいと思います。
- 福田委員長 それでは、これより協議に移ります。  
今、教育長からご説明がありましたように、4人の外部評価委員からコメント及び意見が載っております。外部評価委員のコメント及び意見を受けて、最終点検・評価に向けまして各委員からご意見を伺います。1次評価及びコメントをそのまま最終評価とするのか、外部評価委員のご意見を受けて修正するのか等のご意見をお願い申し上げます。  
それではこの資料に沿ってご意見を伺います。  
まず4ページでございます。「教育委員会の会議の運営に関すること」から9ページまでを協議いたします。
- 田中委員 教育委員会活動の点検・評価、これについて6項目ありますので、もう既に何度も外部評価委員のコメントは読んでいますので、結論だけ申し上げます。  
1番の教育委員会の会議の運営、これについては評価及びコメントは1次評価どおりで良いです。

○福田委員長 それでは、「教育委員会の会議の運営に関すること」については、1次評価どおりということで、ご異議ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 では、1次評価どおりでお願いします。

次に5ページ、「教育委員会の会議の公開等に関すること」について、お願いします。

はい、田中委員。

○田中委員 これについては1次評価で具体的に課題を明らかにしてありますので、評価及びコメントは1次評価どおりにしたいと思います。

○福田委員長 ほかの委員は何かございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 異議ないようでございますので、「教育委員会の会議の公開等に関すること」についても、1次評価どおりでお願いいたします。

6ページ、3「教育委員会と事務局との連携に関すること」について、お願いします。

○田中委員 これについては1次評価を追認したコメントでありますので、ここは評価及びコメントは1次評価どおりで良いと思います。

○福田委員長 ほかには、いかがですか。

○古岡委員 1次評価どおりでいいです。

○福田委員長 それでは3の「教育委員会と事務局との連携に関すること」も1次評価どおりでお願いします。

次に7ページ、4「教育委員会と市長との連携に関すること」について、お願いします。

はい、田中委員。

○田中委員 これについては、評価は1次評価のままで良いと思います。コメントも1次評価どおりで良いと思います。

○福田委員長 ほかには、いかがですか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それでは4「教育委員会と市長との連携に関すること」についても1次評価どおりでお願いします。

次に8ページ、5「教育委員会会議の充実に向けた委員の研鑽に関すること」についてお願いします。

○田中委員 これについては1次評価を高く評価したコメントでありますので、ここでは1次評価の評価及びコメントどおりで良いと思っております。

○福田委員長 ほかの委員は、いかがですか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 異議がないようでございますので、「教育委員会会議の充実に向けた委員の研鑽に関すること」は1次評価どおりということでお願いいたします。

次に9ページ、6「学校及び教育施設に関すること」についてお願いいたします。

はい、田中委員。

○田中委員 これについては校庭の芝生化とともに、緑化運動に計画的に取り組んでおりますので、ここでは1次評価の評価及びコメントどおりで良いと思います。

○福田委員長 ほかの委員は、いかがですか。澤教育長。

○澤教育長 この外部評価委員コメントは校訓という石碑の話が出ておまして、緑化運動とともに今後の取組課題としてほしいということが出ておりますが、これの扱いをどうするかというのは1次評価の中では読み取れない部分でありますけれども、どのように皆さん感じましたか。

○福田委員長 いかがですか。皆さん方のご意見を伺います。

○澤教育長 より具体的に、施設の一部を使うと言っているのかな、と思います。

○福田委員長 石碑ということについて、私も少し読み取れない部分があるのですけれども、いかがですか。田中委員。

○田中委員 この石碑の問題はそれぞれの当該校が独自に設置するものですから、あえて教育委員会がどうこうという問題ではないので、あくまでも1次評価どおりの評価、コメントでお願いしたいと思います。

○福田委員長 ほか、いかがですか。

○古岡委員 歴史的な重みのあるものだったらべつですけども、改めてつくるといのは今やるべきではないと思います。

○福田委員長 ほか、いかがですか。ないようでしたら、「学校及び教育施設に関すること」につきましても、1次評価の評価及びコメントどおりということをお願いいたします。

それでは次、教育委員会施策の点検・評価に移ってまいります。

11 ページ、1「人権教育や道德教育、自立した個人を育てる教育の推進」についてお願いいたします。

○田中委員 これについては教育委員会施策の点検・評価、分野別で20項目ありますので、最初、人権教育や道德でよろしいですか。

○福田委員長 はい。

○田中委員 これについてはキャリア教育の推進を取り上げ、職場体験の一層の充実を望むとあるわけですが、これについては立川市学校教育振興基本計画、これの18ページに基本施策が出ています。その中に職場体験、学習についてアクションプラン、これがしっかり明示されておりますので、これをご覧になればこういうコメントは出ないと思います。したがって、ここは1次評価どおりで良いと思います。

○福田委員長 ほか、ご意見をお願いします。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 ご異議ないようですので、「人権教育や道德教育、自立した個人を育てる教育の推進」につきましては、1次評価及びコメントどおりで良いということをお願いいたします。

12 ページ、2「心とからだの健康づくりの推進」について、ご意見をお願いします。

はい、田中委員。

○田中委員 これは平成23年度の活動と施策、これが点検評価の対象になりますので、このコメントは該当しません。したがって、ここは1次評価の評価とコメントどおりで良いと考えております。

○福田委員長 ほか、ご意見をお願いします。

○古岡委員 コメント自体は成果は認めてもらっているのです、それはそれでいいと思います。ただ内容は1次評価のとおりだと思いますので、1次評価のままでいいと思いました。

○福田委員長 ほかにないようでしたら、1次評価のままということをお願いいたします。

13ページ、3「いじめや不登校などの相談機能の充実」について、ご意見願います。

はい、田中委員。

○田中委員 ここはコメントにスーパーバイザーの委嘱とか、市教育相談室等との連携強化及び適応指導教室の強化、これが出ておりますので、これについては1次評価のコメントを活かしていきたいと思います。その上で評価は1次評価どおりで良いと思います。

○福田委員長 ほか、ご意見ございませんか。

○古岡委員 1次評価どおりで良いと思います。

○澤教育長 今の田中委員のご指摘は、スーパーバイザーとかソーシャルワーカーとかそういう現に今やっていることについての言葉をもう少し入れるという意味ですか。

○田中委員 立川市教育委員会としてはスーパーバイザーを導入していますね。それを継続して今後委嘱していくという形で申し上げましたが、今度改めて新しくということではなくて、もう少し充実するという意味です。

○福田委員長 教育長。

○澤教育長 今まで取り組んできたものをもう少し盛り込んだほうが良いという外部評価委員の方の意見を参考にすると、もう少し盛り込んだほうが良いということですか。

○田中委員 そうですね。

○福田委員長 ここについてはスーパーバイザーの委嘱、相談室との連携強化、その上に適応指導教室の在り方の再考というのが出ています。これも踏まえた状況の中でスーパーバイザー、相談室等との連携強化ということを図っていくというような文言を盛り込む形になるかと思いますが、そんな形でよろしいですか。

○田中委員 結構です。

○福田委員長 それでは、ご意見がないようでしたら、そういう形にしたいと思います。

3の「いじめや不登校などの相談機能の充実」につきましては、以上のような文言を導入していただきまして、そして評価は1次評価どおりの形をお願いいたします。

それでは14ページ、1「豊かな個性と創造力を伸ばす教育の推進」について意見を願います。はい、田中委員。

○田中委員 これについては1次評価を肯定的に評価したコメントでありますので、ここは1次評価の評価及びコメントで良いと思います。



○福田委員長 ほか、ご意見いかがですか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それでは、1「豊かな個性と創造力を伸ばす教育の推進」につきましては、1次評価どおりでお願いいたします。

次 15 ページ、2「特別支援教育の推進」についてご意見願います。はい、田中委員。

○田中委員 ここは1次評価を高く評価したコメントでありますし、また、年度によつての成果あるいは課題解決に向けた取組みをする、そんなコメントが入っているので、ここは1次評価の評価及びコメントどおりで良いと思います。

○福田委員長 澤教育長。

○澤教育長 ここではそれプラス、保健・福祉と教育が一体となったパーソナル・アドバイザー制度の整備をとという提案があるわけですが、この扱いをどういうふうにしていくかということでございますと、特別支援教育課をつくって今やっていることもそれも一つの検討には入ってくると思いますが、この文言をどういうふうに整理をしていくか委員の皆さんのご意見を願います。

○福田委員長 古岡委員。

○古岡委員 医師会からの代表といたしまして、療育ですね。医療と教育をまとめた言葉として使っていただきたいと思います。

○福田委員長 療育という文言も含めるというご意見でございますが、ほかございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それでは、この「特別支援教育の推進」につきましては、先ほど澤教育長からもありましたように、今年度、特別支援教育課が設置されておりますので、保健・福祉及び医療、教育が一体となったパーソナル・アドバイザー制度というような文言を挿入していただくという形でございます。ここはコメントだけ入れていただいて、1次評価はそのままということをお願いいたします。

次に 16 ページ、3「学校給食の充実」について、ご意見願います。はい、田中委員。

○田中委員 コメントの中に給食費未納問題等とありますが、これは重要な問題ですので、今後の課題として1次評価のコメントに活かしたいと思います。なお評価は1次評価どおりで良いと思います。

○福田委員長 ほか、ございますか。

ここの給食費未納問題等に取り組む必要があるというような外部評価委員のコメントでございますが、このコメントは1次評価に活かすという形をお願いいたします。なお、評価は1次評価どおりの形でございます。

次に 17 ページ、1「市民の教育参加と学校改革の推進」について、ご意見願います。

はい、田中委員。

○田中委員 このコメントの中に「なんでも学校任せ」の風潮は教職員を疲弊させる。行政の適切な介入をとありますけれども、これまで少なくとも立川市教育委員会としては他市に見

られない市民の教育参加あるいは学校への様々な支援体制をとってきていると思います。あとは教育現場が知恵を發揮してどのように活用していくかが重要であると私は思っておりますので、ここでは1次評価の評価及びコメントで良いと考えています。

○福田委員長 ほか、ご意見ございますか。

○古岡委員 行政の適切な介入というのは、教育委員会が今まで適切に介入していますので、その点は問題なくやっていると思います。

○福田委員長 教育長。

○澤教育長 今回の行政の適切な介入という言葉は外部評価委員の独特な言い回しだと思いますけれども、そういう意味では先ほど田中委員がおっしゃったような取組みがありますので、直接的な文言はどうかと思っております。

○福田委員長 そのことについて、ご意見ございますか。

○田中委員 今、教育長がおっしゃったその方向でよろしいと思います。

○福田委員長 それでは、1「市民の教育参加と学校改革の推進」につきましては、1次評価の評価及びコメントで良いという形をお願いいたします。

18 ページ、2「安全で快適な教育環境の整備」について、ご意見を伺います。

はい、田中委員。

○田中委員 これについては立川市学校教育振興基本計画、この中の33 ページにあります学校施設の大規模改修、あと小中学校施設営繕等について、26年度までのアクションプラン、これが示されています。したがって、ここは1次評価の評価及びコメントで良いと、そのように考えています。

○福田委員長 ほか、ご意見ございますか。古岡委員。

○古岡委員 コメントにありますように、教育委員会の尽力に問題ありませんのでそのまま入れていただければと思います。1次評価どおりで良いと思います。

○福田委員長 これは外壁の整備やトイレの改修、順次の各学校における課題の改善ということでございますけれども、先ほどございましたように、アクションプランに示されておりますので、ここにつきましては1次評価及びコメントどおりで良いという形をお願いいたします。

次に19 ページ、4「生涯学習は子どもから（生涯学習の基礎づくり）」について、ご意見願います。はい、田中委員。

○田中委員 コメントに、今後、子どもを主役にする事業などへの工夫、これがありますけれども、1次評価の中で「子ども対象事業」等の充実を図っていく、こういうコメントを我々はしているわけです。したがって、ここは1次評価の評価及びコメントどおりで良いと思いますので、お願いいたします。

○福田委員長 古岡委員、お願いいたします。

○古岡委員 子どもの居場所づくり事業は大変効果が見られるので、それを入れていただければいいと思います。評価は1次評価どおりでいいと思います。

○福田委員長 ほか、ございますか。もしないようでしたら、4「生涯学習は子どもから」につきましては、1次評価及びコメントどおりで良いという形をお願いします。

20 ページ、5「生きがいをめざす楽しい学習（学習の場と機会の提供）」について、ご意見ををお願いします。はい、田中委員。

○田中委員 ここは1次評価の評価及びコメントどおりで良いと思いますので、お願いいたします。

○福田委員長 ほかに、古岡委員、いかがですか。

○古岡委員 同意見です。

○福田委員長 ないようでしたら、「生きがいをめざす楽しい学習」につきましては、1次評価及びコメントどおりで良いという形をお願いいたします。

次に21 ページ、6「ふれあいで新しい生活創造へ（いきいき地域活動）」についてのご意見を願います。はい、田中委員。

○田中委員 ここは1次評価の評価及びコメント、これで良いと思います。

○福田委員長 ほか、ございますか。

○福田委員長 ないようでしたら、6「ふれあいで新しい生活創造へ」につきましては1次評価及びコメントどおりで良いという形をお願いいたします。

次に22 ページ、7「学びのきっかけづくり（生涯学習情報の提供）」についてのご意見を願います。田中委員。

○田中委員 ここは概ね1次評価を肯定的にコメントしておりますので、1次評価の評価及びコメントどおりで良いと思います。

○古岡委員 私もそう思います。

○福田委員長 それでは7「学びのきっかけづくり」につきましては、1次評価及びコメントどおりという形をお願いいたします。

次に23 ページ、8「生涯学習推進基盤の充実」について、ご意見願います。

はい、田中委員。

○田中委員 ここでのコメントの中に交流の場を設定することも必要と、そういう課題を提示しておりますけれども、これについては1次評価のコメントに示した企画運営委員会あるいは市民推進委員会等の役割や機能、その中に当然取り込まれているわけですから、したがってここは1次評価の評価及びコメントどおりで良いと考えています。

○福田委員長 ほか、ございませんか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それではないようでしたら8「生涯学習推進基盤の充実」につきましては1次評価及びコメントどおりの形をお願いいたします。

24 ページ、9「市民力と連携したスポーツの振興」につきまして、ご意見を伺います。

はい、田中委員。

○田中委員 ここは1次評価の評価とコメントどおりで良いと思っております。

○福田委員長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 ないようでしたら、9「市民力と連携したスポーツの振興」につきましては、1次評価、コメントどおりという形でお願いいたします。

次に25ページ、10「ニーズの多様化に対応した新たな事業の展開」について、ご意見願います。はい、田中委員。

○田中委員 この中のコメントに障害のある方もそうでない方も一同に楽しむことのできる事業展開、この必要性が提示されております。やはり大事な課題でありますので、1次評価のコメントに活かしていきたいと思っております。なお評価は1次評価のBにさせていただきたいと思っております。

○福田委員長 ほかにご意見ございませんか。

○福田委員長 それでは10「ニーズの多様化に対応した新たな事業の展開」につきましては、下から2行目にございます障害のある方もそうでない方も一同に楽しむことのできる事業展開、という文言を追加していただきまして、評価につきましては1次評価どおりという形でお願いします。

26ページ、11「健康づくりの推進」についてのご意見を伺います。はい、田中委員。

○田中委員 ここではコメントの中に、今後は次世代を担う子どもから高齢者まで、すべての世代に対する事業展開、及び情報発信、これはやはり課題に挙げているのですね、本当に大事なことですので1次評価のコメントに活かしてはと思います。なお評価は1次評価どおりで良いと思っております。

○福田委員長 ほか、ご意見ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それでは、11「健康づくりの推進」については、下から2行目、今後は次世代を担う子どもから高齢者まで、すべての世代に対する事業展開、及び情報発信が求められるという文言を挿入していただき、それで評価は同じBという形でお願いします。

次27ページに移ります。12「関連行政分野との連携の強化・協働事業の実施」についてのご意見願います。はい、田中委員。

○田中委員 コメントの中にスポーツ振興を見据えた横の繋がりや他地域との連携を課題に挙げていますが、具体的に何をおっしゃりたいのかははっきりしないのですが、ただ、私どもとしては1次評価にあるようにスポーツ推進委員の協力は継続して行われているが、それ以外の拡大とか、あるいは民間事業者との協力による事業実施の検討とか、そういうことにもしかなら含まれるのではないかと思いますので、したがってここは1次評価の評価及びコメントどおりで良いと考えております。

○福田委員長 ほか、ございますか。

○福田委員長 ないようでしたら、12「関連行政分野との連携の強化・協働事業の実施」については、1次評価及びコメントどおりという形でお願いいたします。

次に 13「スポーツ施設の利用拡大及び整備・充実」につきまして、ご意見願います。

はい、田中委員。

○田中委員 ここは 1 次評価の評価及びコメントどおりで良いと、そのように考えております。

○福田委員長 ほかにご意見ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それでは 13「スポーツ施設の利用拡大及び整備・充実」につきましては、1 次評価及びコメントどおりという形でお願いたします。

次に 29 ページ、14「新たな収集方針の策定と計画的な蔵書構成」につきまして、ご意見願います。はい、田中委員。

○田中委員 ここではコメントの中には、今後、書籍の電子化等も見据えながら、共同保存など抜本的な解決を他の自治体とともに協議と、そういう必要性を挙げているわけですが、このことは今後とも起きてくる課題でありますので、このコメントは 1 次評価に活かしたいと考えております。なお評価は 1 次評価どおりで良いと考えております。

○福田委員長 ほか、ご意見いかがですか。ありませんか。

〔「はい」との声あり〕

○福田委員長 それでは 14「新たな収集方針の策定と計画的な蔵書構成」につきましては、下から 2 行目でございます。書籍の電子化等も見据えながら、共同保存など抜本的な解決を他の自治体とともに協議というような文言を 1 次評価に活かしていただく。なお評価は 1 次評価どおりという形でお願いたします。

次に 30 ページ、15「他の機関との連携・協力の推進」についてのご意見願います。

はい、田中委員。

○田中委員 ここは 1 次評価の評価及びコメントどおりで良いと、そのように考えております。

○福田委員長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それではないようでしたら、15「他の機関との連携・協力の推進」については 1 次評価及びコメントどおりという形でお願いたします。

次に 31 ページ、16「図書館サービスの拡充」につきまして、ご意見願います。

はい、田中委員。

○田中委員 ここではコメントは課題として図書館の再配置などの実現をめざし、図書館の機能を利用者が十分に活用できる仕組みや中・高校生に対するサービスの充実と、これが課題として取り上げてあります。このことは今後重要な課題でありますので、1 次評価のコメントに活かしたいと思います。なお評価は 1 次評価どおりで良いと考えております。

○福田委員長 ほか、ご意見ございますか。

○福田委員長 それでは 16「図書館サービスの拡充」につきましては図書館の再配置などの実現をめざし、図書館の機能を利用者が十分に活用できる仕組み及び中・高校生に対するサービスの充実というような文言を 1 次評価に入れていただく。そして評価は 1 次評価どおりと

いう形をお願いいたします。

次に 32 ページ、17「利用拡大に向けた効果的な運営」についてのご意見を伺います。

はい、田中委員。

○田中委員 利用拡大については一定の評価をしながらも特に期待をよせております。課題としては図書館の有効性に気づいていない潜在的な利用者の拡大を挙げているわけですが、こういうことは今後重要なことでありますので、1 次評価のコメントに活かしたいと思います。なお、評価は 1 次評価どおりで良い、そのように考えております。

○福田委員長 ほか、いかがですか。

○古岡委員 それで結構です。

○福田委員長 それでは 17「利用拡大に向けた効果的な運営」につきましては、下から 2 行目、図書館の有効性に気づいていない潜在的な利用者もいる。このような潜在的な利用者へ呼びかけというような文言を挿入してください。評価は 1 次評価どおりという形をお願いいたします。

次 33 ページ、18「学校と学校図書館の取組（学校図書館の活性化）」についてのご意見を  
お願いします。はい、田中委員。

○田中委員 ここは 1 次評価の評価及びコメントどおりで良いと、そのように考えております。

○福田委員長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 ないようでしたら 18「学校と学校図書館の取組」につきましては、1 次評価及びコメントどおりという形をお願いいたします。

次、34 ページ、19「地域や家庭の取組（乳幼児からの読書のきっかけづくり）」というこ  
とについてのご意見を伺います。はい、田中委員。

○田中委員 ここは 1 次評価の評価及びコメントどおりで良いと、そのように考えています。

○福田委員長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それでは、19「地域や家庭の取組」につきましては 1 次評価及びコメントど  
おりという形をお願いします。

次 35 ページ、20「立川市図書館の取組（読書の専門機関としての計画の推進と支援）」と  
いうところのご意見を願います。田中委員、お願いします。

○田中委員 ここは概ね高い評価をされております。今後の課題としては中高校生などへのサ  
ービス対応、あるいはヤングアダルトサービスを基礎にその充実と、こういう課題が挙がっ  
ておりますので、これは 1 次評価のコメントに活かしたいと思います。なお評価は 1 次評価  
どおりで良いと、そのように考えています。

○福田委員長 ほか、ご意見ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それでは、20「立川市図書館の取組」につきましては、中高校生などへのサー

ビスや対応、ヤングアダルトサービス、その基礎という形が出ていますので、その充実という形で1次評価のコメントに活かしてください。なお、評価は1次評価どおりという形でお願いいたします。

以上で教育委員会点検・評価についての協議を終了いたします。

それでは今後のこの取り扱いでございますけれども、事務局でお願いします。

○**小林教育総務課長** ご協議ありがとうございました。本日も協議いただきました内容を次回の定例会におきまして、7の点検・評価、最終案のところできりまとめいたしまして、それを材料にご議論いただきたいと思います。

○**福田委員長** それでは今ございましたように次回という形になりますが、幾つかのコメントを1次評価に盛り込んでいただくこととなりますけれども、対応よろしくをお願いいたします。

---

## ◎協 議

### (2) 立川市における小学校の学校適正規模の考え方(素案)について

○**福田委員長** 次に協議2に移ります。

協議(2)立川市における小学校の学校適正規模の考え方(素案)について、協議いたします。

この協議案件については自由協議といたします。資料につきましてはここに提出していただいております立川市における小学校の学校適正規模の考え方(素案)をご参照願います。

澤教育長、趣旨説明をお願いします。

○**澤教育長** それでは素案を今日初めて提案したわけでございます。

これは今まで自由協議でやってきていただいて、委員の皆さんから出た意見を全てとりまとめたものでございまして、その意味ではこの素案を最初にさせていただいて、今日、また意見があれば修正をいたしますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○**福田委員長** それではこれより協議に移ります。

立川市における小学校の学校適正規模の考え方(素案)でございますけれども、これまで4回程度定例会において協議を重ねてまいりました。今回はこの協議、概ね最終になるかと思ひますけれども、これまでの協議をまとめた現素案をもとに皆さんのご意見を自由協議という形でお願いいたします。

田中委員、お願いします。

○**田中委員** 今、委員長からありましたが、立川市における小学校の学校適正規模の考え方(素案)、しっかりまとめていただいたなと感謝してありますし、またこれまで定例会の自由協議あるいは勉強会、それから学校訪問、十数回にわたってその形がここに反映されていると思ひます。

ただ、この中で幾つか修正したい箇所がありまして4カ所申し上げたいと思ひます。

1つは1枚目の6行目ですが、この中に「③どの子どもにも安心と平等な教育」とあります。この中の「安心と平等」というのを「安心で平等な教育」とするほうが表記上いいと思ひます。

いますので、ご検討下さい。

2つ目ですが、1枚目の3つ目の○ですけれど「運動会や合唱など」とあります。これについては小学校の学校適正規模の考え方ですので、合唱は中学校向きだと思いますけれども、「運動会や学芸会など」と「合唱」を「学芸会」、そうしたほうが教育上望ましいと思います。

3つ目ですが、1枚目の4つ目の○のところですが、「教職員の年齢別、性別など」とありますけれども、実際に教員採用する場合に、こういう年齢別、性別は考慮してないですね。またジェンダーの考え方もありますので、適切でないと思いますので、ここは経験年数や特性などと表記したらどうでしょうか。つまり「教職員の年齢別、性別など」ではなくして、「経験年数や特性など」としたほうが望ましいかと思います。

あと最後になります。1枚目の下から7行目のところです。「子どもの学習や運動において競争心が培える。」。学校教育においては競争心だけではありません。協調性も非常に大事です。それを通して子どもに自らの個性と能力を伸長させることが大事ですので、私としては「子どもの学習や運動面で競争心や協調性が培われ、自らの個性や能力を伸長させることができる。」と、そうしたらどうか、私は望ましいと思います。ご検討ください。

私からは以上です。

○**福田委員長** ありがとうございます。ほか、ございますか。自由協議でございますので、皆さんのご意見を遠慮なくお願いいたします。

平山委員、いかがですか。

○**平山委員** 私も保護者としてしましては、これまで自由協議等重ねてきました学校規模適正化の考え方について特に問題ないと思われませんが、やはりこれからの社会を担う子どもたちのために、立川市として基本姿勢をもって臨んでいけばと思います。

○**福田委員長** 古岡委員、お願いします。

○**古岡委員** 田中委員がおっしゃった経験年数や特性など望ましいバランスとありましたが、バランスというより調和の方がよろしいかと思います。

○**福田委員長** 田中委員。

○**田中委員** これはバランスでいいと思うんですね。なぜかと言いますと、先ほど申し上げたように教員の世界というのは、ご承知のように経験年数が20代から50代までありますし、また、経験を通してそういう特性も考えた上でバランスというのは非常に大事なのではないのでしょうか。そのように先ほど申し上げました。

○**福田委員長** 澤教育長。

○**澤教育長** 今、田中委員からのご指摘された4点、そのとおりだと思いますので、また事務局でも持ち帰らせていただいて次回に素案の修正ということで行いたいと思います。

○**福田委員長** 全体的にほか、いかがですか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** 私から今日の自由協議を簡単にまとめさせていただきますと、まず修正箇所については4カ所でございます。



最初に③どの子どもにも安心と平等な教育を、安心で平等な教育、表記上そのほうがスムーズにいくと思います。次に○の3番目、運動会や合唱などでございますが、合唱というのはやはり中学校独特でございますので、あくまでも対象は小学校でございますので、学芸会などという形にご訂正願います。それから○の4、教職員の年齢別、性別など望ましいバランス、というのがございますが、教職員の経験年数や特性などという形に訂正していただく形になろうかと思えます。バランスはそのままお願いをいたします。最後4点目、下から7行目ですが、子どもの学習や運動において競争心が育えるとありますけれども、健全な競争心を培うことももちろん大事でございますが、競争心だけではなくて、競争心や協調性が培われるということに修正願います。

以上の4点を修正していただきまして、再度ご提示願いたいと思えます。

以上でございますけれども、ほか、追加ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** それでは、立川市における小学校の学校適正規模の考え方（素案）については終了したいと思います。

次回、この修正、文言を追加していただいて、素案の提出方よろしく願います。

---

## ◎報 告

### (1) 第一小学校建替え事業について

○**福田委員長** 次に報告に移ります。

報告(1) 第一小学校建替え事業について、でございます。

資料として第一小学校建替え事業実施設計説明会での資料をご参照願います。

小林教育総務課長、説明をお願いします。

○**小林教育総務課長** それでは、第一小学校建替え事業について、ご説明いたします。

第一小学校の建替え事業につきましては、お配りした資料のとおり、現在、実施設計の作成作業及び仮設校舎の建築を進めておりますが、去る7月14日土曜日に第一小学校に関係する保護者や地域の方々、及び柴崎学習館利用者を対象とし、配付させていただきました資料等を基に説明いたしまして、実施設計の策定状況等についての説明会を開催いたしました。

当日は大変暑い中でございましたけれども、まず第一小学校の関係の説明会では26名の参加者がございまして、今後の工事の段取りのこと、安全な工事のこと、子どもたちの通学路などについて、また学習館利用者への説明会では60名の参加者を得まして、現在の部屋、室構成との比較や駐車場のこと、新しい学習館の運営の在り方などの意見、要望が出されました。

実施設計がほぼ終了に近づきまして建物のイメージが明確になってきたこともありまして、この建替え計画を是認いただいた上で、ご意見、ご要望というような形に変化してきたように感じております。

今後のスケジュールでございますが、仮設校舎が8月中旬には竣工いたしますので、8月

中に既存校舎から引越しを行いまして、引越し終了後、8月下旬から既存校舎の解体作業に入っていきます。解体作業や建築工事につきましては、引き続き学校や保護者など関係者と十分な協議を行いながら、安全かつ円滑に進めていきたいと考えてございます。

説明は以上でございます。

○**福田委員長** ありがとうございます。第一小学校建替え事業についての説明を終了します。

質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご意見、ご質問等お願いいたします。

田中委員、どうぞ。

○**田中委員** ただいま小林教育総務課長からお話がありました。是非、安全かつ円滑とおっしゃっていましたので、その方向でよろしくをお願いいたします。

○**福田委員長** ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** それでは、第一小学校建替え事業についての質疑を終了いたします。

---

## ◎報 告

### (2) いじめの実態把握のための緊急調査について

○**福田委員長** 次に報告(2) いじめの実態把握のための緊急調査について、報告をお願いします。

資料等はありません。並木指導課長、説明願います。

○**並木指導課長** それでは、いじめ実態把握のための緊急調査について、ご説明いたします。

この調査は7月17日付で東京都教育委員会からその実施についての依頼通知があったものでございます。

他県でいじめが原因で生徒が自らその命を絶つという痛ましい事件が起きており、その報道が続いているところで、このことを深刻な事態であると重く受け止めた東京都教育委員会が、7月17日に臨時的緊急調査を実施いたしまして、これまで6月までの期間で実施しておりましたふれあい月間の取組みを7月までに延長するとともに、この7月17日付でのいじめ実態把握のための緊急調査についての依頼がございました。

調査の趣旨は、児童生徒からの情報を的確に把握するとともに、いじめの疑いがあるような事例に対しても見逃さずに迅速に対応することが必要なことから、その実態を把握することとしております。

立川市教育委員会においても、いじめへの対応は早期発見、早期対応が極めて重要なことであり、いじめほどの学校の子どもにも起こり得るものとの認識に立って、各学校での組織的で迅速な対応をお願いしてきたところですが、今回のこの調査通知を見て翌日付で各学校長宛に通知文を発出しております。

今回の調査の趣旨を活かすとともに、各学校では例えば調査の方法としては質問紙によるものですか、児童生徒に面談を通じて把握をすること等、学校の実態とこのふれあい月間の取組みに応じて進めていただくようお願いしたところでございます。なお、現在はその

調査結果の集計中であります。

また、その調査依頼通知の際は、各学校で把握をした事案については、必ず具体的な対応をしていただくことと、夏季休業中から2学期にかけて継続した対応を図ることの徹底を校長に指示したところでございます。

報告は以上でございます。

○福田委員長 教育長。

○澤教育長 補足の説明をさせていただきたいのですが、いじめについては毎年、問題行動調査をしているところですが、おさらいと言いましょか経年で見てみますと、平成20年におきましては小学校26件、中学校73件ということで概ね99件のいじめの認知がありましたが、今現在、23年度の結果でいきますと小学校で15件、中学校で175件、合計で190件の認知件数がありました。

3年前、4年前に比べると中学校でいえば相当数の増加があるわけですが、これは認知をした件数が増えたということで決して悪いこと、もちろんいじめ自体あってはいけないことですが、報告が多くなったということが即悪いということではないと思います。特にその内のだいたい50%が担任の教員により発見されるという状況でございますので、これも今回いじめ調査等からめて整理をしていただきたい、そういう状況にあります。

以上です。

○福田委員長 ありがとうございます。いじめの実態把握のための緊急調査についての説明を終了します。

質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご意見、ご質問等お願いいたします。田中委員。

○田中委員 今、並木指導課長、澤教育長から報告をいただきました。ここ数年間ぐらいのいじめの状態、それを具体的に数字があがってきたと思います。

したがいまして冒頭に並木指導課長がおっしゃったように、早期発見、早期対応、これがやはり大事です。その上で組織的、継続的な対応、そのことが極めて大事ですので、今後とも引き続きこのいじめ問題については取り組んでいただきたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○福田委員長 ほか、ございますか。

私からですけれども、一人の少年の死をきっかけに、私は真正面からこのことに向き合っているのかどうか最初、疑問に思いました。学校や行政、警察の困難ぶり、これが報道によって目を奪われましたけれども、学校教育の中で一番重要なことは何かと、私自身はなぜこの生徒の自殺を防げなかったか、私はここが一番視点であると思っています。

やはり子どもの変化、微妙な変化と言いますか、異変と言いますか、それになぜ先生方や周りは気づかなかったのか、気づこうとしなかつたのか。そういうことで、私も長い間、教員生活の、中学校生活の中での反省をしているのですが、やはりどの時点で子どものSOSと言いますか異変や変化に、ささいな変化でも気づくことができたかということを顧みれば、いじめや自殺を防ぐ手立てにはなつたのではないかと思うと同時に、先ほど田中委

員がおっしゃったように、やはり早期発見、早期対応、それも組織的、継続的に行うことはもちろん重要でございます。

同時に、日々生徒に接する教師の子どもを見ようとする目、見ようとする意識、この見る目を養い、人権教育と言うか命の教育がいかにか大切にということのを再認識していただいて、いじめの根絶に努めていただくようお願いしたいと思います。これだけ不幸なことはいません。学校だけの問題ではございませんけれども、地域、家庭、行政もあわせてお願いいたします。

---

## ◎報 告

### (3) 地区図書館への指定管理者候補者の選定について

○福田委員長 次に報告(3)地区図書館への指定管理者候補者の選定について、でございます。

地区図書館への指定管理者候補者の選定についての資料をご参照願います。

小宮山図書館長、説明願います。

○小宮山図書館長 地区図書館への指定管理者の導入に関しましては、6月の定例会に報告をさせていただきましたとおりでございます。平成25年4月に新たに3館加わりますので、これにつきまして今年度から早速、候補者の選定に入っております。

(1) に示しましたとおり、25年4月につきましては3館を加えた5館につきまして導入を図っております。

(2) に示しましたのが休館日及び開館時間でございます。現在2館試行導入してございますが、そちらとあわせて開館日、開館時間の拡大を図っております。

(3) こちらは管理運営体制でございますが、こちらも現在の試行導入の2館の検証に基づきまして、総合的に管理調整を行うマネージャーを配置するですとか、あるいは責任者、責任者補佐とかそういった者への今までの実務経験年数、こういったものを新たに面接基準といたしました。

裏面になりまして、実際の業務につきましては②で施設維持管理業務というのが加わっております。こちらは若葉図書館につきまして施設全体の管理を図書館が行っていくため、今回は若葉図書館については施設維持管理業務が加わっております。

(5) の参加要件でございますが、こちらも試行導入の当時と比べまして東京都内での公共図書館への指定管理者の導入というのがかなり当初と比べましても多く導入されてございますので、今回は東京都内市町村での実績のある団体という要件を追加いたしました。

(6) が今後のスケジュールになります。これらの要件に基づきまして市長部局でございます指定管理者候補者選定審査会に諮問をいたしまして、(6)の番号でいいますと10番になりますが、だいたい10月の下旬ころ第2次審査の結果というのが出ます。11番の11月に入りまして教育委員会定例会へ議案という形で提案いたしまして、12月には市議会のほうに提案してまいりたいと考えてございます。

報告は以上でございます。

○福田委員長 ありがとうございます。地区図書館への指定管理者候補者の選定について、説明を終了いたします。

次に質疑に移ります。ご報告内容を踏まえ、ご質問、ご意見等お願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 それでは、地区図書館への指定管理者候補者の選定についての質疑を終了いたします。

次にその他に移ります。何かございますか。

〔「ありません」との声あり〕

---

#### ◎閉会の辞

○福田委員長 最後に次回の日程確認を行います。次回、平成24年第15回立川市教育委員会定例会は平成24年8月9日木曜日、午後1時30分より、205会議室にて開催いたします。

以上で平成24年第14回立川市教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午後2時30分

署名委員

.....

委員長